

(左)図 1 2 : 焼損したノーズ付近。ワイヤー溶融時の発熱によってセールの一部が発火したと思われる。

(右)図 1 3 : セールから取り出し、下面側より見る。右フロントスパーがブッシング部を残して脱落。



(左)図 1 4 : 右翼クロスバーとフロントスパーの接続部。上下のサイドワイヤー及びそれらをクロスバーに固定するボルトとナットが行方不明。この図では下方が前縁側となる。

(右)図 1 5 : フロントスパーに見える溶融穴は、上記ボルト脱落によってクロスバー取り付けプレートがこのように回転し、クロスバー側のボルト頭の位置が前進してこの位置になったと思われる。



(左)図 1 6 : 同部位を下面側から見る。行方不明のボルト脱落によると思われるような損傷痕跡は無い。

(右)図 1 7 : 同部位を前縁に沿って翼端方向へ見る。フロントスパー接続ナットのリングピンが見える。

